

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 09030050

政策目標	1 はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 次期計画内容 L=70m(操業船10隻) ○事業費 14,000千円 ・建設費 14,000千円 ○財源内訳 ・自己財源 7,000千円 / 町補助金 7,000千円
基本施策	3 水産業の振興	事業優先度	A	
単位施策	1 水産資源の保護・増大	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	しじみ貝増産事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成28年度	担当課	9 産業振興課	
事業主体	雄武漁業協同組合	関係課	#N/A	
事業指標	漁場造成(耕うん、施設設置に伴う実績調査)	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
事業目標	①62.1ha(耕うん)、②1回(実績調査)	関係例規・法令名		
住民参加	無	関係個別計画名		

全体計画		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
事業内容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容		
計画内容	(1)耕うん オニシ湖において耕うんを実施し、しじみ貝の生息環境の改善による生存率アップを図る。 (2)棧橋の設置に伴う漁獲等実績調査 年1回実施 ○総事業費 5,580千円 ・耕耘 ○補助率 1/2(補助残) 市町村事務費補助金は全額補助	オニシ湖の漁場造成 耕耘 A=20.7ha ○事業費 2,000千円 用船料、賃金他 ○財源内訳 ・国補助金 530千円 ・道補助金 265千円 ・町補助金 602千円 ・自己資金 603千円 ○市町村事務費補助金 90千円	オニシ湖の漁場造成 耕耘 A=20.7ha ○事業費 1,790千円 用船料、賃金、事務費他 ○財源内訳 ・国補助金 530千円 ・道補助金 355千円 ・町補助金 452千円 ・自己資金 453千円 ○市町村事務費補助金 90千円	オニシ湖の漁場造成 耕耘 A=20.7ha ○事業費 1,790千円 用船料、賃金、事務費他 ○財源内訳 ・国補助金 530千円 ・道補助金 355千円 ・町補助金 452千円 ・自己資金 453千円 ○市町村事務費補助金 90千円	棧橋設置のための特採許可による操業実績調査 ○事業費 0円	棧橋設置のための特採許可による操業実績調査 ○事業費 0円		
	計画事業費	事業費(千円) 1,776	692	542	542	0	0	
実績事業費	財源内訳	国庫支出金 0						
	道支出金 270	90	90	90				
	地方債 0							
	その他 0							
	一般財源 1,506	602	452	452				
関連事項	事業費(千円) 603	90	288	225	0	0		
	財源内訳	国庫支出金 0						
	道支出金 256	90	87	79				
	地方債 0							
	その他 0							
一般財源 347	0	201	146					
特定財源の名称 環境・生態系保全活動支援事業(推進活動支援事業)補助金(90千円)	【評価・実績】	(実施内容等) ・漁場造成(耕耘) 耕耘日数 16日 耕耘面積 実:5.25ha 延べ:9.00ha モニタリング 1回 ※事務事業評価結果 C-継続/拡充	(実施内容等) ・漁場造成(耕耘) 耕耘日数 40日 耕耘面積 実:16.5ha 延べ:36.5ha モニタリング 1回 ※事務事業評価結果 B-継続/現状維持	(実施内容等) ・漁場造成(耕耘) 耕耘日数 29日 耕耘面積 実:9.25ha 延べ:14.75ha モニタリング 1回 ※事務事業評価結果 B-継続/内容の見直し・変更	(実施内容等) ・漁場調査 ※事務事業評価結果 B-継続/現状維持	(実施内容等) ・漁場調査 ※事務事業評価結果 B-休止		
		前記計画からの継続(継続無し)	年度目標値	漁場造成 20.7ha	漁場造成 20.7ha	漁場造成 20.7ha	調査実施	調査実施
		第6期計画への継続(継続無し)	年度達成率	13%	53%	42%	#DIV/0!	#DIV/0!
			全体達成率	5%	21%	34%	34%	34%
	備考欄							

事業名	しじみ貝増産事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	横田 和幸
		評価者 作成者 職氏名	水産係長	高田 勉

様式1
平成29年度実施
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	漁業者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	漁場調査面積								
【抱える課題やニーズは】	オニシ湖のしじみ貝の資源増加が見込めない。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	オニシ湖のしじみ貝の生存率の向上を図る。	①	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成29年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>20.7 ha</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>10.3 ha</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>49.8 %</td></tr> </table>	目標年度	平成29年度	目標値	20.7 ha	実績値	10.3 ha	達成度	49.8 %
目標年度	平成29年度										
目標値	20.7 ha										
実績値	10.3 ha										
達成度	49.8 %										
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	資源量の増加による安定した漁業種の確立、生産額の向上を目指す。	②	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td></td></tr> <tr><td>実績値</td><td></td></tr> <tr><td>達成度</td><td>#DIV/0! %</td></tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	#DIV/0! %
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	#DIV/0! %										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	漁協による現地調査	生存性の確認									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	健康食品に位置付けられるしじみ貝は、オニシ湖において生息が確認されているが、安定的な漁業種とするため、生存状況を調査する必要がある。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効	<input type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	調査計画面積の減少に伴い目標値を下回ったが、漁場において一定の生存性が確認され、今後の漁獲等について検討が進められた。
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/>	達成	
	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input checked="" type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	調査・検討のため、事業費をかけずに行った。
	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	費用負担も無く、公平性が保たれている。
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
B		
漁場調査を実施し、しじみ貝の生存を確認したが、現状において船舶で操業する漁業者が現れる可能性は低い。ため、棧橋設置については、引き続き検討をする必要がある。		

今後の展開方向
(Action)

休止		
現状において、船舶で操業する漁業者がいないことから、本事業は休止することとする。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止